


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他( )		
	単元(題材)名	「修学旅行を振り返ろう」		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の思い出や、調べてきたことをまとめる。</li> <li>・旅行の記録を整理し、若葉祭に向けてのポスター作成を行う。</li> </ul>		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学 部 3 年 2 人		
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男子2名の普通学級であり、1名は2学期からの転入生である。授業に向かう態度は共に良いが、お互いのやりとりにぎごちなさがあった。</li> <li>・タブレット端末等の扱いには慣れており、簡単なスライド作成や文書作成をすることができる。</li> </ul>		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad(生徒側)、WindowsPC(教師側)		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド カメラ、写真	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字を書くことに苦手意識をもっていたため、旅行中の記録に意欲的に取り組めることをねらった。</li> <li>・まとめを作成する時間数が限られているため、効率よく作成することをねらった。</li> </ul>		
活用の状況と支援	※ICT活用場面と行った支援について記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google ドキュメント、スプレッドシートでしおりを作成した。PC 上での表示と生徒が扱うタブレット端末での表示の違いがあり記録する際に手間取ることもあったが、宿泊先で過ごす際に、自分で一日の出来事を記録しはじめる様子が見られた。</li> <li>・Google スライドで調べてきたこと(ミッション)を撮影してきた写真やコメントを入れて「Mission 報告書」を作成し、若葉祭で掲示することができた。作成時は2名の生徒が共同編集し、リアルタイムでお互いの選んだ写真を見て楽しみながら取り組む様子が見られた。</li> </ul>			